



財団法人 日本医療機能評価機構認定病院



医療法人 社団

光仁会 梶川病院グループ 広報誌

●医療法人 社団 光仁会の理念

『光仁会は 地域の人々の健康と幸せに貢献し
あわせて働く人達の健康と幸せを追求します』

●医療法人 社団 光仁会の基本方針

「地域包括ケア」「医療療養」「透析医療」を三本の柱とし
予防・治療・在宅まで切れ目のない医療を提供し
地域医療に貢献します

2022年 冬号



地域医療連携室のスタッフ

特集：地域医療連携室にご相談ください！

- 委員会紹介：ホスピタリティ委員会
- 管理栄養士の健康レシピ紹介
- 光仁会 梶川病院トピックス

特集 地域医療連携室にご相談ください!

当院2階総合受付の向かい側に、青い扉の部屋がある事をご存じでしょうか。ここが地域医療連携室(通称「連携室」)です。「前方連携」「後方連携」「相談窓口」の3つの機能を持つ部署であり、看護師2名、社会福祉士2名の計4名が配属されています。

入院や転院、退院後の生活、医療や福祉についての困りごとなど、患者さんやご家族、また地域の医療機関や在宅サービス事業者などからの相談も受け付けています。「連携」の名の通り、患者さんが適

切な医療・介護サービスなどを受けられるように、各種機関と連携して業務を行います。特に入院は患者さんにとって大きな生活変化であり、不安な気持ちになられることも多く、そのお気持ちに寄り添った支援をモットーに行っております。どうぞお気軽にご相談ください。



後の青い扉が「地域医療連携室」の入口です! お気軽にどうぞ!

■入院相談(前方連携)

他の医療機関からの転院相談(※1)や各種施設からの入院相談など、安心して継続した治療やリハビリが受けられるよう、主に看護師が相談をお受けし、入院までの調整を行っています。

また、介護をされるご家族やケアマネジャーからのレスパイト入院(介護されている方の介護疲れや、冠婚葬祭などの理由で、一時的に在宅介護が困難になった場合の入院)の相談も併せてお受けしています。

さらに、自動車事故対策機構(NASVA)の「短期入院協力病院」(※2)として、対象の方に短期入院を提供しています。

入院される方の情報をしっかり把握し、適切な入院医療が提供できるように心がけています。身近な病院として、お気軽にご相談ください。



電話で詳しい内容をお伺いします

※1 他の病院へ入院中の患者さんやご家族から転院相談をいただくことがあります、その時にはまず入院中の病院の相談員さんにご相談ください。病院と病院の間で必要なお話をさせていただきます。

※2 自動車事故が原因で、脳、脊髄又は胸腹部臓器を損傷し、重度の後遺障害をお持ちの方を対象として、治療、養護及び介護を行う家族等のレスパイト等を目的として、短期入院を提供しています。

■退院支援(後方連携)

入院すると、いつかは必ず退院の日を迎えますが、何の問題も無くスムーズに退院される方ばかりではありません。例えば、体を自由に動かすことが難しくなり、「退院して以前と同じように生活ができるだろうか?」と悩まれるなど、人それぞれに多種多様な悩みをお持ちです。

患者さんやご家族の「これから、どのような生活を送りたいか」という気持ちに焦点をあて、かかりつけ医、介護保険サービスや障害福祉サービスの担当者、行政機関など、退院後の生活を支える関連機関と連絡を取り合いながら、同じ目標を持ち共に考えていきます。



様々な関係機関と調整を図ります

■医療福祉相談(相談窓口)

突然の入院や外来受診などにより、思いがけず出費が重なったり、あるいは受傷前と同じ心身の状態ではなくなるような事があるかも知れません。こうした時に、安全かつ安心した状態で治療を受けていただけるよう、患者さんやご家族からの医学的質問や生活上並びに入院上の不安、医療安全対策など、様々な相談に対する相談窓口を設置しています。

例えば、「ケガをして働く事が難しくなり収入が減ってしまった。入院費や生活費はどうしたら良いか?」、「介護保険サービスを使ったことがないけれど、何から始めたら良いかしら?」など、気になる事がありましたら、何でもご相談ください。



心配な事・気になる事を何でもご相談ください!

■地域連携強化活動

当院の事をより知っていただくため、広報活動にも注力しています。

広報誌「たんぽぽ」の発行、天満宮の夏祭りに「かじかわ健康広場」として参加したり、健康講座を開催したりするなど、地域の医療機関や在宅サービス事業者のみならず、地域の皆様との交流を大切にしています。



院外への広報活動も行っています



ホスピタリティ委員会は、これまで院内各部署に任せられていた接遇教育や療養環境整備について、部門横断的に活動する組織です。委員は各部署から選出された看護師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、医事課職員、ケアマネジャーなどから構成されており、主に以下のような取り組みを行っています。

■患者さんの満足度向上

患者さんの満足度向上のためには、まず患者さんからの声に耳を傾けること、そして適切な医療を提供することはもちろん、接遇や療養環境の充実も重要なポイントとなります。

ホスピタリティ委員会では、新入職員への接遇教育や定期的な身だしなみチェックの実施、療養環境の整備活動を行っています。特に療養環境整備については、病棟トイレについて現場のスタッフと協議を行いながら改修へとつなげ、患者さんからも「良くなったね」と好評を得ています。

■5S活動

昨年より「5S活動」を開始しています。5S活動とは、整理・整頓・清掃・清潔・しつけの5つの行動を部署毎に決められたルールで実践するというもので、環境整備の側面もありますが、業務改善や人材育成ツールとしても用いられます。まだ始まったばかりで取り組みが十分とはいえませんが、委員会主導で活動を定着させたいと考えています。

5S活動

1. 整理：ものを必要品、不急品、不用品に分け、不用品を処分する
2. 整頓：必要品の置き場所・置き方のルールを決める
3. 清掃：誰が掃除しても同じキレイな状態を保つこと
必要品がいつでも使えるよう保全すること
4. 清潔：整理・整頓・清掃(3S)が標準化され、それが維持されている状態
5. しつけ：整理・整頓・清掃・清潔を常に意識し、主体的に取り組む仕組みを作る

■職員満足度

ホスピタリティ委員会は、サービスの質向上のためには、患者さんだけではなく職員の満足度も重要な要素と捉え、当院で働く職員を対象に職場満足度の調査も行っています。





生活習慣病の予防に山芋はいかがですか？

すりおろして「とろろ」として食されることが多い山芋ですが、そこに含まれる栄養素の中には、生活習慣病の予防に役立つものがいろいろ含まれています。

食物繊維、レジスタントスターチ（消化吸収されないでんぷん）は血糖値を上げにくく、でんぷん分解酵素であるジアスターゼが消化を促進し疲れた胃を助けます。体内の余分な水分や塩分を排出するカリウムは高血圧の予防に、また関節の痛みや炎症を防ぐグルコサミンも含まれています。

今回ご紹介するレシピは以下の4つです。「山芋の胡麻和え」は加熱で栄養が低下しますので、なるべく加熱しない方が良いです。普段のレシピに加えてみてください。「イチジクのケーキ」は、卵の代わりに山芋を使ってふっくらと焼きました。是非ご賞味ください。

山芋30g、ブロッコリー50g、すりごま3g、砂糖1g、醤油4g

ブロッコリーはボイルし、山芋はカット。さっと熱湯をくぐらせ水で冷やす。調味料で和える。



山芋の胡麻和え(63kcal)

バター70g、山芋50g、砂糖70g、小麦粉70g、イチジク3個

バター、すりおろした山芋、砂糖をよく混ぜ、さらに粉類をさっくり混ぜる。型にバターを塗り生地を流す。イチジクは6等分に縦カットして並べ、180℃で40分オーブンで焼く。



イチジクのケーキ(211kcal/6分割カット片)

山芋適量、酢200ml、水200ml、砂糖大さじ6、塩小さじ2、唐辛子1本

山芋はスライスしてさっと熱湯をかけて水につけ水分をふき取る。調味料は全て沸騰直前まで加熱する。消毒した瓶に、山芋と冷ました酢をヒタヒタになるまで注ぐ。



山芋ピクルス

山芋60g、人参40g、玉ねぎ50g、肉60g、カレールウ20g、オリーブオイル10g、ライス180g

野菜はカットして、水で煮込む。好きなルーで味付けを。



山芋のカレー(605kcal)

2022年10月1日 **新任医師のご紹介**



こはだ ゆうき
小羽田 悠貴

泌尿器科
非常勤
診察日：隔週水曜日

私は県立広島病院、東北医科薬科大学などで臨床経験を重ね、本年度より広島大学病院に勤めております。この10月より、水曜日に隔週で梶川病院 泌尿器科の外来を担当いたします。

尿の悩みはなかなか相談しにくく、症状が重くなってから病院を受診される方が多くいらっしゃいます。そのような方の中には、良性疾患だけでなく腎がん、尿路上皮がん、前立腺がんなどの悪性疾患を罹患されている方も少なくありません。

頻尿、血尿など、気になる事があれば、お気軽にご相談ください。

2022年9月12日 **ひかり保育園様より敬老の日メッセージをいただきました**

ひかり保育園きりん組の園児の皆さんより、敬老の日のメッセージを贈呈いただきました。「おじいちゃんおばあちゃん いつまでも元気でいてね」とのメッセージと、たくさんの笑顔が描かれた素敵な作品です。

新型コロナウイルス感染を防ぐためにスタッフが代理で受領し、利用者の皆さんにお披露目させていただきました。



園児の皆さんより通所リハビリテーション管理者が受領しました

2022年9月26日 **消防訓練を行いました**



夜間の少ない人数で、迅速に役割分担して動く事が重要です

夜間、スタッフが少ない状況での火災を想定した消防訓練を行いました。

火災を発見してスタッフが集合し、通報や消火活動、避難誘導の役割分担等は、定期的に訓練を実施しないと覚えられません。

今後も訓練を重ね、より安全な医療環境を提供いたします。



外来担当医師紹介



院長
すえまる なおこ
末丸 直子
内科
《外来診察日》
月・木・金曜日



副院長
くめ たかし
久米 隆
泌尿器科
《外来診察日》
月・水(隔週)・木・金曜日



副院長
あさみ よしあき
浅海 良昭
外科・内科
《外来診察日》
月・火・木曜日



血液内科部長
いわと こうじ
岩戸 康治
血液内科
《外来診察日》
火・金・土曜日



ひのい としひで
檜井 俊英
内科・循環器科・禁煙外来
《外来診察日》
火・金曜日



くしはた しげゆき
串畑 重行
非常勤 内科・禁煙外来
・頭痛外来
《外来診察日》
水曜日



はらだ ひとし
原田 仁
非常勤 整形外科
《外来診察日》
月・木曜日



なかはら みつる
中原 満
非常勤 泌尿器科
《外来診察日》
火曜日



ほうさい みか
法西 美果
非常勤 総合診療科
《外来診察日》
水曜日



こはだ ゆうき
小羽田 悠貴
非常勤 泌尿器科
《外来診察日》
水曜日(隔週)



外来診療 予定表

診療時間

午前 9:00～13:00

・受付は12:30まで
・リハビリ受付は12:00まで

午後 14:00～18:00

・受付は17:30まで
・リハビリ受付は17:00まで

休診日

土曜日午後
日曜日・祝祭日
8月14～16日
12月30日～1月3日

※ 令和4年12月1 日現在

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	末丸直子 (9時半から)	浅海良昭 岩戸康治	串畑重行 ※禁煙外来 ※頭痛外来	末丸直子	末丸直子	岩戸康治
	午後	浅海良昭	檜井俊英 ※禁煙外来	法西美果	浅海良昭	岩戸康治 檜井俊英 ※禁煙外来	
外科	午前		浅海良昭				
	午後	浅海良昭			浅海良昭		
泌尿器科	午前	久米隆	中原満	久米隆 小羽田悠貴 (週交代)	久米隆	久米隆	広大泌尿器科
	午後	久米隆	中原満	久米隆 小羽田悠貴 (週交代)		久米隆	
血液内科	午前		岩戸康治				岩戸康治
	午後					岩戸康治	
循環器科	午前						
	午後		檜井俊英			檜井俊英	
整形外科	午前	原田仁			原田仁		
	午後	原田仁 (15時から)					
総合診療科	午前						
	午後			法西美果			

病院概要

名称	医療法人社団光仁会 梶川病院
所在地	〒733-0022 広島市西区天満町8番7号
電話番号	082-231-1131 (代表)
FAX	082-231-8866 (代表)
URL	http://www.kajikawa.or.jp
開設	1980年5月(昭和55年)
院長	末丸 直子
診療科目	内科・外科・泌尿器科・整形外科・循環器科 肛門科・放射線科・リハビリテーション科 人工透析内科・神経内科・血液内科
病床数	88床 (地域包括ケア病棟48床、医療療養病棟40床)
基準	地域包括ケア病棟1 療養病棟入院基本料1(在宅復帰機能強化加算)
併設	通所リハビリテーションすみれ(定員40名)
主な設備	オープンタイプMRI 16列マルチスライスCT 高精度デジタルX線透視装置 等

光仁会 梶川病院は、地域の在宅医療を支える病院です

透析を含む一般内科・外科・泌尿器科を中心とした治療を行っています

個々に応じたりハビリを行い、在宅・社会復帰に向けたきめ細かな支援に力を入れています

人工透析をされている、もしくは導入予定の方は、退院後も外来透析が可能です(フェニックスクリニックにて実施)

各部署が連携をとりながら情報を共有し、患者さんひとりひとりに合った医療・介護を提供するよう心がけています

周辺案内図

公共交通をご利用の方は

- ・広島電鉄市内線
天満町電停下車 徒歩2分
- ・広島バス25号線
天満町バス停下車 すぐ



光仁会 梶川病院グループ

【広島市域事業所】

- ① 光仁会 梶川病院(入院・外来)
電話:082-231-1131
〒733-0022 広島市西区天満町8-7
- ② フェニックスクリニック(人工透析)
電話:082-293-8400
〒733-0031 広島市西区観音町7-29
- ③ あしたば訪問看護ステーション
電話:082-234-0585
〒733-0022 広島市西区天満町13-19
- ④ 通所リハビリテーションすみれ
電話:082-231-1196
〒733-0022 広島市西区天満町8-7
- ⑤ 居宅介護支援事業所リンデン
電話:082-297-7717
〒733-0022 広島市西区天満町13-19

【廿日市市域事業所】

- 老人保健施設べにまんさくの里
電話:0829-50-0031
〒739-0478 廿日市市大野1320

【庄原市域事業所】

- こぶしの里クリニック
電話:08477-2-5255
老人保健施設こぶしの里
電話:08477-2-5252
〒729-5121 庄原市東城町川東152-4



財団法人 日本医療機能評価機構認定病院



内科/外科/泌尿器科/整形外科/循環器科/肛門科/放射線科/
リハビリテーション科/人工透析内科/神経内科/血液内科

発行:医療法人社団光仁会 梶川病院
編集・文責:地域医療連携室

〒733-0022 広島市西区天満町8-7
TEL(082)231-1131(代) FAX(082)-231-8866(代)
http://www.kajikawa.or.jp